

令和元年度

地域活動実践講座 実施報告書

日 時 令和元年 10 月 25 日（金曜日）
会 場 帯広市民活動センター
参加者 20 名
内 容 実践発表 講演



1 実践発表の様子

参加者の多くが地域で活動していることや過去に活動したその内容、成果、課題について発表した。その後、大きな課題の解決策について、今までの経験や友人知人の実践、近隣市町村の様子などが発表された。結論には至らなかったが、それぞれ活発な意見が出された。

◎実践内容

- 帯広美術館協会でこけしを作っている。無地の木肌に児童生徒が色付けする。適切な指導方法が分からない。
- 女性団体活動を長い間行っている。後継者不足で今後が心配である。
- 町の高齢者大学の運営委員長をしている。役員の固定化や高齢化が課題である。
- リサイクルや環境教育を念頭にペットボトル風車の作成と講師を地域で行っている。使用したペットボトルの処理が課題である。
- 町内会で介護に関する活動を行っている。相手のプライバシー保護の問題があり、すんなりとはいかないケースがある。



◎課題解決に向けて

- 地域活動状況について参加者同士の交流の場があって、課題や愚痴などを言い合えるとストレスが軽減される。
- 行政や学校などボランティアを依頼する対象は高齢者が多く、多くの活動の場で頼られ過ぎている傾向がある。いずれ無理が来るので選択しながら活動する事が必要である。
- 道民カレッジや市民カレッジを通して、知識を身につけ上で活動することが効果的である。

2 講演 講師：道民カレッジ・フレンズ十勝

会長 金田 英男氏

- 道民カレッジ連携講座が少ない十勝地区において 2010 年から毎月 1 回 3 時間の講座を地域活動として開催し、現在 115 回開催している。
- 地元である十勝の歴史や自然をはじめ全国各地を直接探索し、その学習の成果を 15 ページに及ぶ資料にまとめ講演を行っている。
- 今回は、地域活動の一環として行っている「雑学ひとり旅」を行うに至った経過、道民カレッジとの関わり、活動によって得たことなど軽妙な語り口で 2 時間の講演を行った。

